



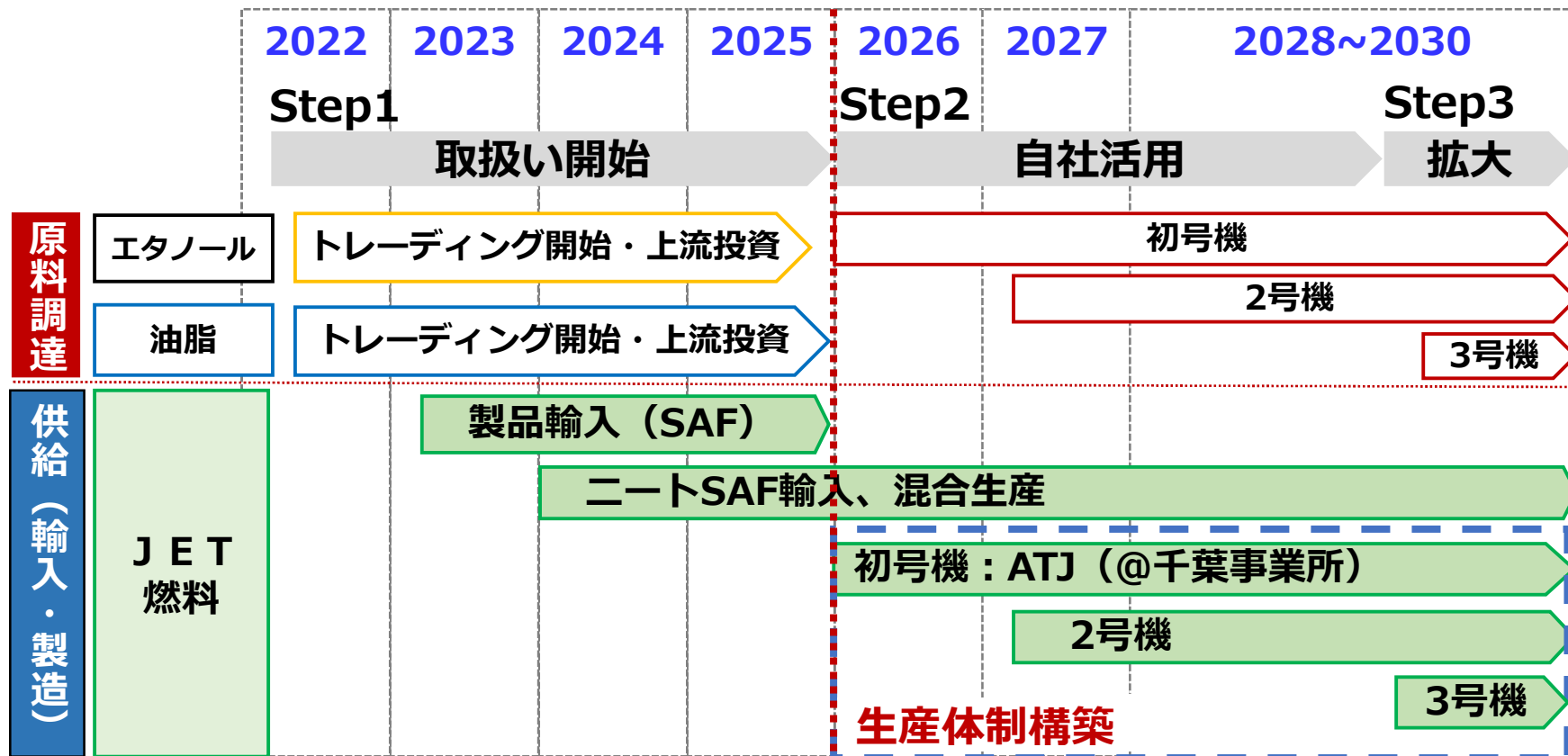
当社のSAFに関する取組み

2022年4月21日

出光興産株式会社

1. 航空機燃料の転換（2030年までのロードマップ）

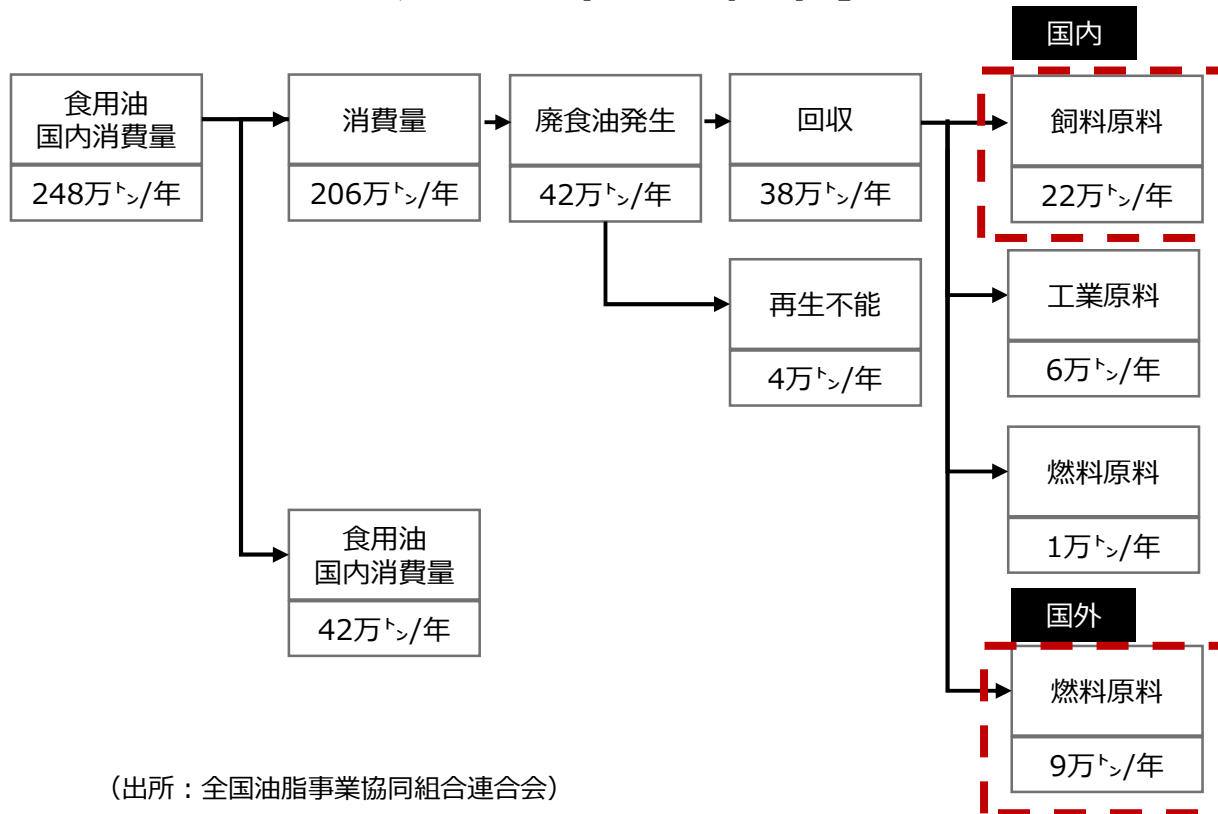
- 海外からの輸入に依存することなく、国内生産体制を構築することが責務と認識。
- 航空業界の**2030年目標（SAF混合率10%）**への貢献。
- 2025年度に商業規模設備の建設、**2026年度から10万KL供給開始**、原料調達も連動。**2030年に年間50万KLの国内生産体制**を構築するべく、2号機以降の展開についても検討。



2. 航空機燃料の転換（国内原料の課題①廃食油）

- CO2削減率の高い廃食油は争奪戦が繰広げられ、調達可能量が限定的にも関わらず、**輸出され、海外のSAF原料として利用されている。**（9万トン/年）
- 国内は飼料用に利用されているが、欧州・中国では不純物リスクから禁止。（22万トン/年）
- 計30万トン/年の廃食油が国内SAF用に使用できる政策検討を期待。（農水省・環境省）

【廃食油のリサイクルの流れ（2020年度）】



【廃食油フロー】



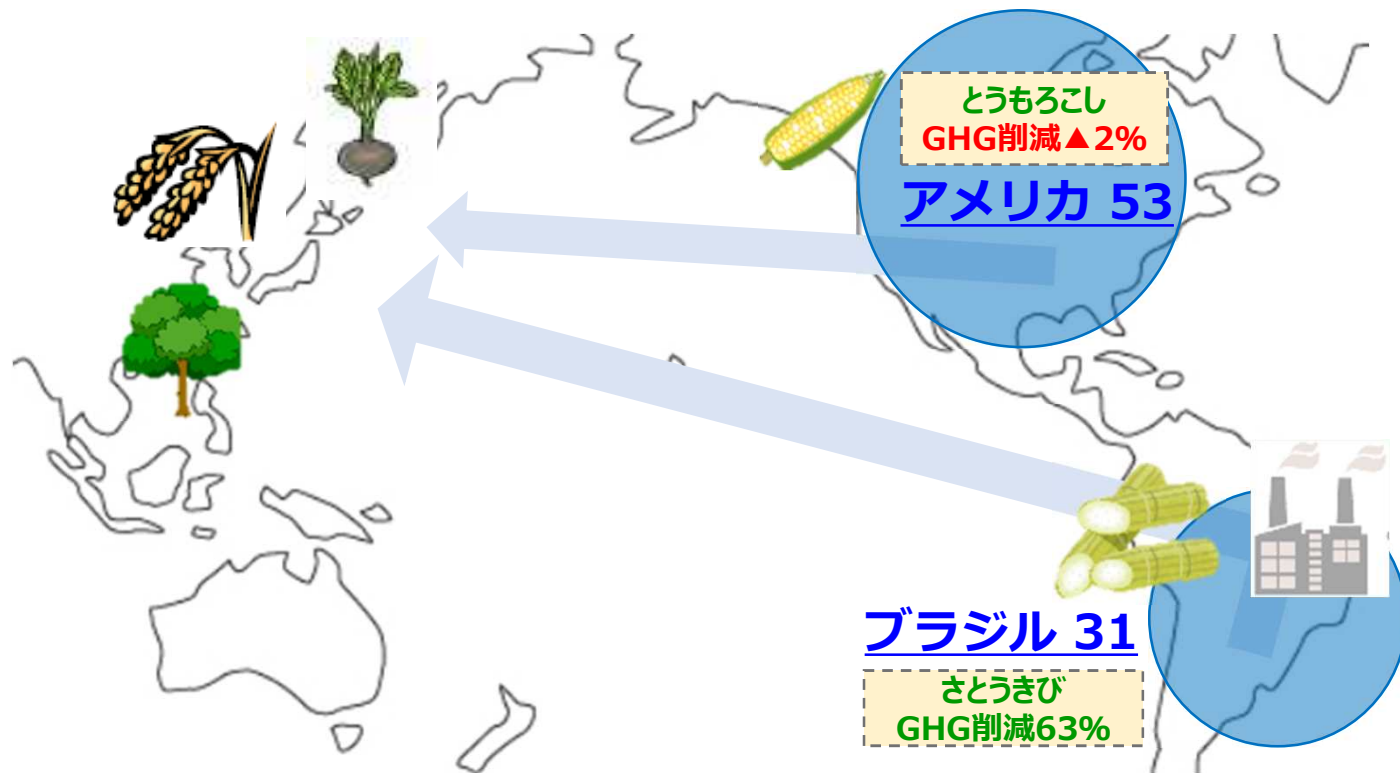
欧州・シンガポール
向けに取引

（出所：当社調べ）

2. 航空機燃料の転換（国内原料の課題②エタノール）

- 世界の供給量は120百万KL、GHG削減率が重要要素。
- 質・量ともに伯産の取り扱いが必要で、**輸入時の関税の免税**がSAF供給コスト低減に寄与。
- 国内でSAF原料となるエタノール生産に係る取組は皆無で、官民連携した取組が必要。

【2020年のエリア別エタノール供給量（百万KL）】



（出所：USDA）

以上